

## 普及活動情勢報告

情勢報告（平成29年5月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

多世代の交流が盛んとなる「四万十モデル」の農家住宅の整備に向けて  
～四万十町就農・定住促進協議会の開催～



協議会委員ら

4月25日、四万十町役場西庁舎防災対策室で四万十町就農・定住促進協議会の設立会が開催され、地域住民代表6名を含む協議会委員（14名）や関係機関の職員計25名が参加しました。

本年度四万十町が、農家住宅を含む魅力ある生活環境の整備推進に取り組む全国のモデル地区（6ヵ所）の一つに選ばれました。そのため、その取組みの事業実施主体となる協議会の設置（規約、規程の承認、役員を選任）及び事業の進め方の説明等が行われました。

今後、普及所は関係機関と連携し、農山漁村振興交付金（都市農村共生・対流対策）の活用などにより、新規就農者の定住促進に向けた構想づくりを支援していきます。

四万十次世代モデル・農業クラスターの形成支援 ～トマト加工品開発検討会の開催～



加工品を試食

4月27日、四万十とまと（株）会議室で、加工品の試食会が行われ、取締役や四万十町役場、県の職員など14名が参加しました。

トマト品種「富丸ムーチョ」を使ったセミドライトマトやピューレ、カレー、味噌などの加工品を試食しました。参加者からは、ピューレを使用したカレーへの関心が高く、「他の四万十町食材も使用してPRしてみても面白い」「学校給食に出してみてもどうだろうか」といった声があがりました。また、地産地消・外商課アドバイザーからは、加工を含め四万十とまとのブランディングについての説明がありました。

普及所は今後も、加工品の開発などの農業クラスターの形成に向け支援していきます。

四万十町にも稲の季節が到来！ ～JA四万十エコ栽培米生産部会育苗現地検討会の開催～



苗の生育を確認する生産者

5月8日、JA四万十エコ栽培米生産部会生産者のほ場で育苗現地検討会を開催し、生産者9名が参加しました。

普及所からは、これまでの育苗状況、今後の管理、育苗時の病気（苗立枯病）診断のポイントを指導しました。

また、生産者から「今年度は例年に比べ苗が伸びにくい」などの声が聞かれたことから、対処法についてJAとも指導しました。

今後は気象データなどを活用しながらより良いお米が生産できるよう、関係機関と連携して支援していきます。

十和地域での広域的な集落営農組織設立に向けて ～十和西部地区環境保全会の開催～



総会の様子

5月10日、十和地域の十和・川口集会所で十和西部地区環境保全会総会が開催され、協定代表者や関係機関等14名が参加しました。普及所は、窪川地域の事例を元に協定と集落営農を合わせた運営や集落営農組織設立に向けた支援などについて情報提供しました。参加者からは「人が高齢化しており、やっと農地を守っている。」などの声が聞かれました。今後は、十和地域で広域的な集落営農の組織化が進み、地域の農地や農業が守っていけるよう関係機関と連携し支援していきます。

サトイモの機械化作業体系の検討 ～J A四万十サトイモ生産部会総会の開催～



デモ機による植付作業

5月11日、J A四万十農協会館で平成28年度総会が開催され、生産者10名が出席しました。普及所は、本年度から普及指導計画に位置付けて検討している機械化作業体系の確立に向け、3月中旬に行った植付作業等の動画を見ながら、それぞれの機械の利点や欠点、労働時間の調査結果を報告しました。生産者は、機械化体系の労働時間の少なさに、改めて機械化の効果を実感し、部会でも前向きに機械の導入を検討することになりました。今後普及所は、収穫作業や収量の調査等を行い、機械化体系モデルを作成することとしています。

レベルアップを目指して ～ニラ農家の個別巡回～



農家との面談の様子

5月8,12日、ニラの新規農家やレベルアップを目指す農家を対象に、J A営農指導員と普及指導員が農家のほ場を巡回して面談を行いました。面談では、月別の目標収量に対する実績や、今後の作業予定等を農家と一緒に確認し、現在栽培中のニラの病虫害対策などについての助言を行いました。普及所は、今後も農家の収量及び所得向上に向けて、関係機関と連携して支援していきます。

### 大正地域の園芸品目の振興 ～ J A 高知はた大正支所園芸部総会の開催～



総会の様子

5月11日、J A 高知はた大正支所園芸部総会が旧大正支所で開催され、スプレーマム、シシトウ、イチゴ部会などの役員9名が参加しました。

総会では、平成28年度活動実績と平成29年度活動計画が承認されました。今年度は、役員の変更や構成部会の見直しを行い、生産額の少なくなった部会など2部会を外し、生産額が伸びている甘長トウガラシ部会を新たに加え、新体制で生産振興に取り組むことになりました。

普及所は、生産履歴の記入方法や活用方法についての提案と、市場事故防止への取り組み強化について説明しました。

普及所は今後も、J A と連携して園芸部会活動を支援していきます。

### 経営発展、所得向上に向けて ～ J A 四万十経営分析・診断個別説明会の開催～



夫婦揃って参加

5月2、10日、J A 四万十興津支所において経営分析・診断個別説明会を開催し、農家33戸が参加しました。

普及所はJ A 四万十と協力して経営分析・診断を行い、農家個々に結果を取りまとめました。当日は、個別にその結果を基に課題や改善策、今後の目標について農家と共有しました。参加した農家からは、新たな栽培方式の導入や雇用の確保、収量の向上など多くの課題が出されました。

普及所は関係機関と連携し、農家の更なる所得向上と経営の安定化に向け、課題解決の取り組みを支援していきます。